

地域認知症ケアコミュニティ推進事業 H14年度～

認知症の人の理解が深まり、
地域全体で支えるしくみをつくり、
認知症になっても、誰もが
住み慣れた家や地域で、
安心して豊かに暮らし続ける…
そんな願いを叶える「まちづくり」です。

～多職種協働・多世代交流・地域協働を生み出そう～

認知症コーディネーター養成研修



認知症の人の尊厳を支え、本人本位の認知症支援の牽引役、まちづくりの推進者の育成

2年間の研修を終えたコーディネーター修了生は、所属事業所内で認知症ケアを実践する他、地域に認知症の理解を浸透させるために様々な取り組みを実践



もの忘れ予防・相談検診

～介護予防教室「ほのぼの会」



早期支援

認知症の早期発見・早期対応を目的として、もの忘れ予防・相談検診を実施

フォローが必要な人は、地域交流施設で開催する認知症予防教室へ

認知症サポートチーム（全国モデル）による継続支援



大牟田市地域認知症ケアコミュニティ推進事業

小中学校の絵本教室

認知症サポーター養成講座



理解啓発

子どもの時から、認知症の人の気持ちや支援について学ぶため、小中学校での認知症の絵本の読み聞かせとグループワーク

地域や職域団体等を対象に認知症の正しい知識やつきあい方を学ぶサポーター養成講座（7,744人）



高齢者等SOSネットワーク

～徘徊模擬訓練～



地域づくり

SOSネットワークの実効性を高めるための模擬訓練（9年目）

認知症になっても安心して暮らせるまちをつくるために、市民へ認知症の理解と見守りの重要性を啓発し、日常的な声かけ・見守りの意識を高めるとともに、徘徊行方不明発生時に対応するSOSネットワークを構築

